



一 九月県議会遠藤れい子県議の一般質問（続報5） 5. 農業問題、6. デジタル化問題について
大幅な米価下落で農業大打撃！対策強化を！



19年の中之島町の大穴「大穴れんこん大好き」の標語

学生や生活困窮者への食糧支援を求める
全国で、学生や生活困



自給率向上をめざせ

新型コロナウイルス感染症禍で主食用米の需要減少等を原因として、

昨年度に続いて大幅に米価が下落している。このままでは稲作経営の

将来にも影響を与えかねず、適切な対策が求められていると考え、県として、米の需給環境の改善に向けた対策、自給率向上対策など、どのように考えているのか、伺う。

窮者への食糧支援の活動が広がり、コメの支援が歓迎されている。徳島県のように本県でも、在庫となつている昨年度産米などを市場から買い上げて、苦難を訴える学生や生活困窮者に支援を行う取り組みを実施すべきではないか。

高齢者等に配慮したデジタル化対応を

利便性向上に役立つデジタル化には賛成だが、

スマホやパソコン等に不慣れな県民にとって、窓口で職員が対応する行政サービスや紙ベースの申請業務等も選択できるようにすること。

過度の「標準化」は進めるべきでない。

デジタル庁や総務省などが進める「自治体DX推進計画」は、国民健康保険制度などを全国一律基準に「標準化」することを求めている。自治体の歴史や独自法が規定する地方自治の本旨

国への要望項目

国に対して以下の要求を強く行っていただきたい。

- ①これ以上の大幅な米価下落が進まぬよう、政府が備蓄米として買い上げるなど、適切な需給対策を講じること。
- ②ミニマムアクセス米の輸入を中止すること。

に逆行する問題だ。

デジタル化に伴う過度な「標準化」は進めるべきではないと考える。

個人情報等、漏えいの危険を招かない対応を

市町村は独自の「情報公開条例」や「個人情報保護条例」を積み上げてきた。「デジタル化」の名のもとで一律の基準で個人情報「データ流通」させられれば、予期せぬ情報漏えいなどの危険を招きかねないとの不安、批判の声が上がっている。デジタル化の先に情報漏えいがあったら

総選挙・野党統一候補4人が当選！
5区では米山隆一さんの訴えに共感広がる
「当たい前の政治を取り戻し、いのちと暮らしを守り、若者の未来を拓く！」

10月31日総選挙。県内6小選挙区のうち、野党統一候補4人が当選しました。1区西村ちなみさん、4区菊田まき子さん、5区米山隆一さん、6区梅谷守さんです。

日本共産党は残念ながら議席伸びず、10議席に

皆様のご支援に心から感謝申し上げます。残念ながら比例・北陸信越ブロックは力及ばず「宝」の議席を失いました。ご期待に応えることができずお詫び申し上げます。野党共闘に寄せられた期待・野党共通政策の実現のために一層努力いたします。捲土重来を期して引き続きがんばりますので、今後ともよろしく願いいたします。

ならず、十分な個人情報保護のための対策が講じられるべきと考えるが、知事の所見を伺う。
マイナンバーカードの普及機械的に推進しないこと
子育て（15手続）、介護（11手続）などの住民の行政手続きを、マイナンバーカードを用いてオンラインにすると計画されているが、新潟県民の保有率は31.1%で7割近くの県民が「マイナンバーカード」普及を機械的にすすめるべきではないと考える。知事の所見を伺う。

バーカード」を保有していない。（沖縄29.5%、高知30.5%、に次ぐ全国45位の保有率）
個人情報流出の懸念など、国・総務省やマイナンバーカードへの不信が広範に存在することを著している。今後も県民への「マイナンバーカード」普及を機械的にすすめるべきではないと考える。知事の所見を伺う。